

大庭原子力委員会委員の海外出張について

平成23年11月29日

1. 出張先

ベルリン（ドイツ）、ブラッセル（ベルギー）、ルクセンブルグ、パリ（フランス）、
ロンドン（イギリス）

2. 出張期間

平成23年12月4日（日）～12月11日（日）

3. 渡航目的

東京電力福島第一原子力発電所の事故後、原子力推進国と脱原発路線を取る国との二分化が進むヨーロッパにおける、事故を受けてのエネルギー政策や研究開発体制の検討や対策の実体を把握するため、原子力を推進するイギリス及び原子力撤退を決めたドイツの政府関係者と意見交換を行うとともに、欧州におけるエネルギー及び原子力に関する多国間での対応、また長期的なエネルギー見通しの中での原子力の位置づけの検討動向等について、欧州議会議員、欧州連合関係者等との意見交換を行い、今後の原子力政策の策定に資する。

4. 主要日程

12月 4日（日）成田発 ベルリン着
5日（月）ドイツ・連邦経済技術省関係者等との意見交換
ベルリン→ブラッセル移動
6日（火）欧州議会議員・欧州連合関係者等との意見交換
7日（水）欧州連合エネルギー総局関係者との意見交換
ブラッセル→ルクセンブルグ→パリ移動
8日（木）国際エネルギー機関・OECD/NEA 関係者等との意見交換
パリ→ロンドン移動
9日（金）イギリス・エネルギー・気候変動省関係者等との意見交換
10日（土）ロンドン発
11日（日）成田着

以上